

家庭教育だより No.43 はぐくみ

家庭内のコミュニケーションなどによって育まれる
家族の絆や家庭のルールづくり、こどもたちの基本的
な生活習慣づくりを考えませんか。

問合 学校教育課 ☎32-8028 ファク 34-4379

こどもたちの習い事

こどもたちのさまざまな力を伸ばすための活動の一つである習い事。
そんな習い事に関する考え方や向き合い方は、家庭によって異なるもの
です。今回は、こどもたちの習い事とサポート方法について紹介します。



習い事をしているこどもの うち、通っているもの

<小2>	<小5・中2>
1位 スイミング	1位 学習塾
2位 ピアノ	2位 英会話
3位 書道	3位 ピアノ

習い事の現状

習い事の内容に注目してみると、小学校低学年ではスイミングなど
勉強以外の習い事が上位でしたが、小学校高学年や中学生になると英
会話などの学力に重きを置く家庭が多くなっていることが分かります。
また習い事を選んだ理由は、小学2・5年生からは「楽しそうだから」などの興味や憧れによる理由が多く見られ、中学校2年生になると「社会に出て活かすことができそうだから」など具体的な目標を達成するための理由が多く見られました。

保護者に聞いた！一言アドバイス

【習い事のやる気を持続させる秘訣】

- 毎回レッスンが終わった後に、楽しくやっているか話を聞く(小2保護者)
- 継続できていることを褒める(小5保護者)
- 目標が達成できなかったとしても、頑張ったことを認める。次も頑張ろうと声を掛けながら、長い目で見守る(中2保護者)

【こどもがやめたいと言った時は】

- 一度お休みさせて、気持ちを落ち着かせる。別の日に行ってみて、それでもやめたいという気持ちが変わらないのならやめる(小2保護者)
- 本当にやめたいのか確認する。なぜやめたいのかを聞いて、親が納得できた上で本人のやる気がなければ、やめる(小5保護者)

タイミングよく褒めることや、うまくいかなかった時には声を掛けることが効果的です



各家庭によって対応は異なりますが、こどもの思いを聞いて尊重することが重要です



習い事を始めた理由が「こどもがやりたいからと言ったから」であっても、それを逆手に取って「自分がやりたいと言ったんでしょ」と追い詰めないことが大切です。大人もそうですが、自分がやりたいと思ってもやり始めてみると「ちょっと違ったな」ということも少なくありません。やる気が出ない日もあると思いますが、こどもの気持ちを大切に、こどもの声を聞きながらサポートをしていきましょう。

参考：(公財)愛知県教育振興会 子とともに ゆう&ゆう 2024年9月号

編集後記

▶あなたの誇れる特技、ささやかな趣味を貸してくれませんか。
今月号の特集4・5ページで紹介しているMIYOSHIヒト・コト発掘体験会。実はまだ案内人も募集しています。例えばカメラを趣味にしている人は、カメラ体験会を。絵を描くことが好きな人は、お絵描き体験会を。そんなに難しいことではなく、スタッフが助言もします。あなたの「してみたい!」と一緒に叶えますよ。ちょっとした勇気で、自分の周りの世界を変えられるかもしれません。(本)

